



# かけはし

教育目標

- 学び合う子
- つながり、支え合う子
- たくましい子



武蔵村山市立第九小学校 令和8年1月30日

## 学 ぶ 力

副校長 吉岡 明子

寒さの中にも、暖かい陽の光が感じられるようになりました。保護者の皆様には日頃より学校教育に御協力いただき、ありがとうございます。

校庭の木々が静かに芽吹く準備を進めているように、子どもたちの学びもまた、次の季節に向けて力を蓄えています。2月は、一年間の学びを振り返りながら、これからの学びの姿を見つめ直す大切な時期です。

今後、学ぶ力は、どのようなことが大切になるのでしょうか。これからの社会は、変化がさらに速くなり、予測のつかない課題に向き合う場面が増えていくといわれています。そんな時代を生きる子どもたちに必要なのは、知識を覚える力だけではありません。「なぜだろう」「もっと知りたい」という探究心、自分で調べ、試し、考え続ける姿勢、そして仲間と協力してよりよい答えを探していく力。こうした“未来を切り開く力”がますます大切になっていきます。

また、自分の学びを振り返ることも大切な力です。「前よりできるようになった」「ここはもう少しがんばりたい」など、自分の成長に気付くことは、次の学びへの大きな一歩になります。子どもたちが自分のペースで成長を感じられるよう、学校としても丁寧に寄り添っていきたいと思います。

そして、私が学ぶ上で一番大事だと思っていることが、「学びを楽しむ」ということです。「学んでおもしろい」「授業が楽しい」と感じられる瞬間が、子どもたちの学びをより豊かにしてくれます。生涯を通じて学ぶことが大切だと言われてはいますが、それができるのは、学ぶ楽しさを知っているからだと思います。

私は今、自分で興味をもったことを学ぶのがとても楽しいです。それはやらされる学びではなく、自分で選択した学びだからだと思います。学びを楽しみ、自分から学んでいくこと（主体的に学ぶこと）がこれからの子供たちには必要なのだと思います。九小の子供たちにもその楽しさを味わってほしいです。

春を待つ芽が静かに力をためるように、子どもたちの学びもまた、未来へ向けて確かに育っています。学校・家庭・地域があたたかく見守りながら、子どもたちが自分らしい未来を描いていけるよう、これからも一緒に力を合わせていけたらと思います。

